

九州教区青少年委員会 こひつじ九州版

Vol.18

2022.4.11 発行

発行責任者
九州教区
青少年委員会

春のオンライン集会

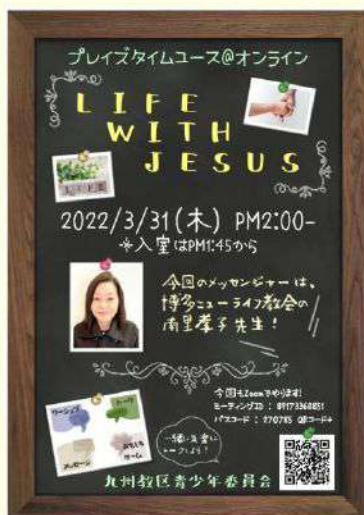
2020年からコロナ禍によって、春夏のキャンプをオンライン集会にしました。3/29(火)に小学科向けにはオンラインキャンプの「チョコリンピック 2022」を行いました。3/31(木)に中高科向けには、プレイズタイムユース@オンラインを行いました。どちらも「LIFE WITH JESUS ～イエス様と一緒になら大丈夫～」という今年のテーマに沿って企画、準備がされました。

小学科は、昨年夏に引き続き、2回目のZoom集会を行いました。オンラインキャンプは1時間半ほどの集会で、最初の1時間は、様々なチョコレートを使った「チョコリンピック」なるゲーム大会を行いました。コロナ禍のため、実際にチョコを食べることは出来ませんが、チョコを使ったクイズやじゃんけん大会を行い、子どもたちは景品としてチョコレートをたくさんもらっていました。

また、工作と称して、ハイエイトチョコを使ったメガネを作り、みんなで笑顔になりました。

説教は、高知聖書教会の柿谷信実先生が、「イエス様も共に歩んで下さり、知っていて下さるから大丈夫」という、イエス様の励ましのメッセージを語って下さり、新年度に臨む子どもたちは励まされました。

子どもたちは、2度目のオンラインキャンプであり、慣れているようで、画面の向こう側のお友達や先生を見ながら、楽しんでいました。子どもたちの参加は7教会から30名ほどでした。



中高科は、今回もZoomでの集会でした。講師、スタッフを含めて6教会から15名ほどの参加がありました。

集会は、礼拝から始まり、本渡キリスト教会の中山雄先生が賛美リードと奏楽をして下さり、イエス様に感謝の賛美を捧げました。

集会のメッセージャーは、新進気鋭の博多ニューライフ教会の南里孝子先生でした。

南里先生は若者たちに、「造り主なる神様を覚えてもらいたい」と熱く語って下さり、主は私たちを背負って下さるのだから大丈夫なので、一人でも信じ続けてほしいと語って下さいました。私たちスタッフも、「信仰とは人数ではない」という言葉に励まされました。とても素晴らしい集会を主に感謝します。

